

2 経管栄養関係の事例 ～注入内容について～

発生時の状況と経過

注入準備のため給食(ミキサー食)を混ぜ合わせた。手順に従い、主食40mlを注入後、副食60mlをシリンジに準備した際に、残りの副食量が普段より少ないことを不安に思い、配膳された食器を確認したところ、汁物の容器がないことに気付いた。

発生時の対応と処置

不足分の汁物の提供を厨房に依頼した。

シリンジ内に準備した副食を食器内に戻し、汁物を副食に加えて混ぜ合わせ、通常通りに注入した。

考えられる原因や背景

副食を混ぜ合わせる際に、献立表と照らし合わせることなく、トレイに載っている食器の食材のみを混ぜ合わせた。

食後に下校する医療的ケア児が複数人いたため、時間内にケアを終わらせなければならぬと気持ちに焦りがあった。

再発防止に向けた対策・改善点

- ・トレイに本日の給食が配膳されているか、献立と照らし合わせて確認を行ってから混ぜ合わせる。
- ・配膳係の職員にチェックを依頼する。

ポイント！

○経管栄養の注入内容はダブルチェックをしましょう。